

# 2021 年度 事業計画書

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## **I. 事業方針**

---

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

### **1. 本年度の重要項目**

新型コロナウイルス感染の再拡大により、本年 1 月に一部地域に緊急事態宣言が発出され、3 月に一旦解除されましたが、4 月に再発令となり、今期も大きな影響を受けています。ワクチン投与の効果により事態が改善して行くには時間が掛かると思われ、今期も競技会の実施については国や地方自治体の指針や状況を確認しつつ事業を進める。

#### **1) 地区組織の変更**

今年度より日本二輪車普及安全協会に業務委託してきた MFJ 加盟団体による地区モーターサイクルスポーツの管理業務を MFJ が直接管理する体制をスタートする。地区加盟団体に代わり、広域事務局を設け当面 MFJ 事務局専任担当者 2 名と二普協 outwarder 1 名並びに競技に精通した外部委託者 3 名で地区専門部会/地方選手権・県大会のシリーズサポート・管理を行う。

#### **2) 全日本選手権のシリーズ管理と露出強化**

- ・ 全日本モトクロス選手権シリーズ、全日本トライアル選手権シリーズのシリーズ管理を株式会社モトスポーツプロモーションに業務委託する。

また、従前に加盟団体が主催していた大会は施設主催もしくは MFJ 主催に移行する。

- ・ 全日本モトクロス選手権シリーズ運営の均一化、安全性の向上、効率化等を図る為、エントリー窓口、情報発信の一元化、レースディレクション制度の導入等実施する。

【派遣要員】

①レースディレクター ②レースアドバイザー ③テクニカルオフィサー ④コースビルダー

- ・ 全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権は既存の Youtube ライブ動画配信の内容を向上させるとともに来場者向けの配信アプリを導入し観客視点でのサービス向上を目指す。

#### **3) 新型コロナウイルス感染症への対応**

- ・ 各地域の感染状況に応じて国、地域行政、スポーツ庁等の指針に基づき、開催の可否を判断し、また開催の場合は感染防止ガイドラインに基づき開催する。

## Ⅱ. 事業内容

### 1. 競技会

新型コロナウイルス感染症の影響は未知数であり、競技会は国や地方公共団体等の指針・制限、開催地区の実情に基づき開催可否を判断し、開催する場合は感染防止対策を講じ実施する。

#### 1) 競技会主催事業

- ・ 加盟団体との業務委託契約終了に伴い、全日本モトクロス/トライアルは施設主催する以外の大会は MFJ が主催する。
- ・ 主催競技会（施設との共同主催含む）を 19 大会開催する。

#### 2) 全日本選手権モトクロス・トライアルのシリーズ管理組織の設立

- ・ シリーズ一元管理と MFJ 主催大会の運営を以下に業務委託する。

業務委託会社： 株式会社 Moto Sports Promotion 代表 中西 悟

シリーズ運営組織：

顧問（MFJ より委嘱）

- ・ 吉村太一・藤秀信・東福寺保雄・木村治男

モトクロス運営チーム

- ・ 熱田 高輝 レースディレクター
- ・ 北居 良樹 レースアドバイザー
- ・ 坂本 祐輔 テクニカルオフィサー
- ・ 橋口 典弘 コースビルダー

トライアル運営

- ・ 岩田 稔

#### 3) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約 350 大会予定)

#### 4) 主要競技会日程

##### (1) ロードレース

###### ①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

鈴鹿 8 耐は、世界的な新型コロナ蔓延による海外チーム来日時の規制・物流等の状況から 11 月に延期

開催日	格式	大会名	会場
7月15日～18日 →11月5日～7日	世界耐久選手権	鈴鹿8時間耐久レース 43回大会	鈴鹿サーキット
10月1日～3日	世界選手権	MotoGP日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

###### ② 全日本選手権 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

最終戦 MFJGP は鈴鹿 8 耐と日程を入れ替え 7 月に開催し、予定されていた JSB3 レース制は 2 レース制に変更

日程		会場	開催クラス (◎は決勝2レース制)				MFJ カップ
			JSB	ST1000	ST600	GP3	JP250
4月 3- 4日	第1戦	もてぎ	◎	○	○	○	○
4月 24-25日	第2戦	鈴鹿 2& 4	◎				
5月 22-23日	第3戦	SUGO	◎	○	○	○	○
6月 19-20日	第4戦	筑波		◎	◎	◎	◎
7月 17日～8日	第5戦	鈴鹿 MFJGP	◎	○	○	○	○
9月 4日-5日	第6戦	岡山国際	○	○	○	○	○
9月 18-19日	第7戦	オートポリス	◎	○	○	○	○

- ・ JSB クラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与。
- ・ ST1000/JP250 はダンロップ社とのワンメイクタイヤ契約、ST600 はブリヂストン社とのワンメイクタイヤ契約

## (2) モトクロス

### ① D.I.D 全日本選手権 MFJ グランプリはスポーツ庁後援/観光庁後援

※第2戦中国大会は緊急事態宣言に伴い、競技運営体制が整わず、延期とした。

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月 10-11日	HSR 九州	第5戦 近畿	9月 11-12日	名阪ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ
第2戦 中国	5月 1-日【延期】	ケリーﾝﾊﾟｰｸ弘楽園	第6戦 九州	10月 9-10日	HSR 九州
第3戦 関東	5月 15-16日	オートﾄﾞﾋﾞﾚｯｼﾞ	第7戦 MFJ-GP	10月 23-24日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO
第4戦 SUGO	6月 5- 6日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO	※第2戦中国大会の延期日程は未定		

- ・ 全日本選手権シリーズとして初めて冠協賛社を獲得：大同工業株式会社
- ・ 中国大会、近畿大会は MFJ 主催/第3戦関東、第7戦 SUGO は MFJ 共催

### ② モトクロス全国大会 (MFJ 共催。スポーツ庁後援・観光庁後援)

ｼﾞｬｰﾊﾟﾝ・国内 A/B 級の全国選抜大会を東北地区 (ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO) にて 8月 1日 に開催

## (3) トライアル

### ① 世界選手権トライアル MFJ 共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

世界選手権トライアル第1戦日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ

5月 15日/16日に開催を予定していたが海外選手の来日時の規制、物資の輸送等の問題から中止となった。

### ② 全日本選手権

※当初予定の第1戦中部/第2戦近畿は準備期間が緊急事態宣言下であり、体制を整える為日程変更

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月 25日	矢岳高原トライアルコース	第5戦 中国	9月 5日	原滝山トライアルコース
第2戦 関東	5月 30日	ツインリンクもてぎ	第6戦 近畿	10月 10日	湯浅トライアルパーク
第3戦 中部	再延期	わがやﾄﾞﾗｲﾊﾞｰﾗﾝﾄﾞ	第7戦 東北	10月 31日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO
第4戦 北海道	延期	わさむサーキット			

### ③ トライアルグランドチャンピオン大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を 11月 14日 に中部・キョウセイドライバーランドにて開催

#### (4) 全日本スノーモビル選手権 (全5戦)

以下5戦を予定したが新型コロナウイルスの感染拡大により全戦中止となった。

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月7日	北海道(真狩)	第4戦	3月6日(土)	青森(いわき青少年スポーツセンター)
第2戦	2月14日	北海道(土別)	第5戦	3月7日(日)	
第3戦	2月21日	北海道(美瑛)			

#### (5) 全日本スーパーモト選手権 (全7戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月4日	茂原(千葉)	第5戦	8月15日	SUGO(宮城)
第2戦	5月16日	HSR九州(熊本)	第6戦	9月19日	名阪(奈良)
第3戦	6月13日(中止)	エビス(福島)	第7戦	10月31日	美浜(愛知)
第4戦	7月11日	弘楽園(広島)			

※6月13日予定のエビス大会は2月の地震で施設が被害を受け中止となった。

#### (6) 全日本インデューロ選手権

	日程	会場
第1戦 中国	3月28日	テージャスランチ(広島)
第2戦 中日本	5月29~30日	いなバモータースポーツランド(三重)
第3戦 北海道	9月18~19日	ビッグヘア(北海道留寿都村) ※日高より会場変更
第4戦 SUGO	11月20~21日	スポーツランド SUGO(宮城)

## 2. 表彰・顕彰

### 1) 全日本選手権ランキング表彰式 (MFJ MOTO AWARDS 2021)

全日本選手権各種目のランキング上位3名ならびに海外選手権上位者等の表彰を行う

開催日: 2021年12月12日(日) ※現時点ではリモート形式で開催予定

### 2) MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂

4月より殿堂評議員会にて殿堂顕彰者を選考予定。顕彰はランキング表彰式に併催

### 3) 地方選手権のランキング表彰式

MX/TR/ED/SM 各地方選手権の最終戦会場にて、シリーズランキング表彰式を開催する。

## 3. 普及活動

### 1) MFJ ロードレースアカデミー in MOTEGI 2021

ロードレースにおける年少者育成を目的とし以下のように開催する。

主催: (一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会

会場: 栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間: 2021年4月~9月 年間10日間

校長: 坂田和人 講師: 小林龍太 他トップライダー起用

年間参加(18歳以下) 使用車両: CBR250R/CBR150R

受講者: 150cc: 7名 250cc: 4名

※150 cc車両は今期より新規車両 10 台を使用予定であったが、アカデミーの受講者の体格ならびに講習内容では旧型車両が適切と判断し、新型車両は講師用等一部使用とし、旧型車両で継続することとなった。尚、新型車両 5 台は(株)チームマリに貸与し、女性のサーキット体験走行に活用することとした。

2) M F J レディー-ストライアルプログラム 2021

20 年度で一旦休止し、今後新たに入門者向けの、底辺層育成プログラム企画を検討する。

3) 親子バイク祭り

今期の開催は未定。2022 年 3 月に東京モーターサイクルショーで開催を計画

4) ツーリング

風間事務所の行う日本 4 極ツーリングと連携し、ツーリングアプリを利用し、災害を受けた地域を訪れ、ボランティア活動や消費活動などを行った場合にポイントを与え、優秀者を表彰するなどの活動を継続する。

5) ジムカーナ競技会

今期の開催は未定

6) CITY TRIAL IN JAPAN2021

モーターサイクルスポーツを都市部で露出し、二輪モーターサイクルスポーツ界全体の認知向上を図ることを目的に今期も開催に協力する。

開催予定日：調整中 会場：大阪・万博記念公園

開催クラス：スーパー-A 級のみ。(全日本選手権として開催)

#### 4. 代表選手派遣・認定

国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定

トライアル デ ナシオン 9 月 17 日(土)～19 日(日) ポルトガル Gouveia

モトクロス オブ ネーションズ 9 月 24 日(土)～26 日(日) イタリア IMOLA

ISDE 8 月 30 日～9 月 4 日 イタリア Rivanazzano Terme

※新型コロナウイルス感染による海外渡航制限等の状況により今期の派遣は見送る方向。

#### 5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) ロードレースコース規定に基づき競技施設の定期査察及び改修査察実施
- 2) 規定に基づく装備品(ヘルメット/レーシングスーツ)の公認
- 3) 装備の基準検討(脊髄/チェストプロテクションの規格 2021 年より実施)
- 4) 装備の推奨(マウスガード、エアバッグ式プロテクションの推奨※ロードレースは 18 歳以下にエアバッグ式プロテクション装着義務を課している)
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進(全種目)

- 6) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートを競技会出場時に必携させ医療機関搬送の際に渡せるように用意を義務付ける。
- 7) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備（JMOS の協力による救護パック手配）ならびに各施設へ AED の配備指示
- 8) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。（マニュアルに基づきネット・コーステプ・立ち入り禁止表示等強化）
- 11) インストラクター養成事業の実施。
- 12) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前に WEB セミナーを開催する。（ロードレース・モトクロス等）※2022 年 1 月～3 月の間に開催
- 13) ドーピングコントロール  
JADA の方針により今期は休止
- 14) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。（ロードレース）モトクロスはレースディレクション制度を取り 4 名の主要スタッフを派遣する。
- 15) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

## 6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣（またはリモートによる出席）
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣（またはリモートによる出席）。
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

## 7. 補助金事業

### 1) (公財) J K A オートレース

国内競技規則書（WEB 版 2022 年版） 交付申請額：3,373,000 円

交付内定額：3,373,000 円

## 8. 情報発信活動

### 1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般に対し情報内容に応じて以下の媒体に掲載/発信する。

- ① 4月1日よりMFJ オフィシャル HP を全面リニューアル。コンテンツの整理、スマホ対応で閲覧しやすいものとした。
- ② 全日本ロードは専用 HP を活用、全日本モトクロス/トライアル/エンデューロはシリーズ管理組織 Moto Sports Promotion にて専用 HP を作成しリンクする。
- ③ 2022 年 3 月のモーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を行う。
- ④ 広報部会活動
  - ・ 広報部会の構成の見直しを図る。
  - ・ 記者発表会/メディア懇談会を必要に応じて開催し連携を図り、告知協力を依頼する。
  - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト (Moto Ladies) 継続
- ⑤ 国内競技規則書は印刷物を作成せず、HP 上に WEB 版として掲載し キーワードによる検索や図、解説を掲載するなど分かり易い内容を目指す。(JKA 補助金事業)

## 2) プロモーション・マーケティング事業

以下項目の業務を㈱TOMOWEL Promotion に委託し、業務委託契約を結び活動を実施する。

### (1) プロモーション事業

#### ① 映像製作/露出 (GMP 社)

- ・ 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映 (毎月末土曜 21:30～22:00・番組名: tv moto ちゃんねる) 放映後ネット配信 (タイトル: moto Channel)
- ・ Web 動画配信 (You Tube) [タイトル: MFJ LIVE CHANNEL] で全日本ロードレース全戦のライブ動画配信 (配信後アーカイブ) を実施し、チャンネル登録者増を目標とする。(現在 3 万人)  
※全日本モトクロスも全戦動画ライブ配信

#### ③ オフィシャルホームページ等広報 (YUP 社)

- ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
- ・ メルマガ配信・写真等素材提供
- ・ 2021 東京モーターサイクルショーでの PR 活動

#### ④ ファンクラブの運営 (ライディングハート社)

コロナの状況で流動的であることから今期も年間パスの販売は中止した。

### (2) MFJ 会員へのメリット供与

- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供  
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide, パークアップ ビックカメラ JTB

### (3) 上記プロモーション事業費での活動に加え、露出を拡大するため、協賛を募り、以下事業を実施する。

#### ① 動画配信の強化 (全日本モトクロス/ロードレース・GMP に業務委託)

- ・ レースの配信の合間に選手/チームの紹介/インタビューなどで人を中心としたコンテンツを配信
- ・ 上記によりレース間のインターバルのない番組的構成とする。
- ・ 海外、特にアジアをターゲットに英語バージョンを設け配信する。(スポンサー獲得に重要)

#### ② 観客用配信アプリの導入

主に来場者向けに多チャンネルを展開できる動画配信アプリ (Grooview) を導入し、以下コンテンツを配信。

- ・ レース映像/ライダー・チームインタビュー映像

- ・ 観客向けイベント（トークショー・キャンギャルステージ等）の配信
- ・ スポンサー企業の紹介

## 9. 組織

### 1) 地域管理

- ① 加盟団体に代わり MFJ が直接地区管理を行う為、新たに MFJ 組織内に広域事務局を設置し MFJ 本部スポーツ部地方組織管理課において全体管理を行う。

- 体制：
- ・ 本部事務局員： 寺牛課長、佐野課長（全体管理）
  - ・ 二普協出向者： 坂本係員（九州・関東担当）
  - ・ 外部業務委託： 小谷 徹（中部・近畿担当）  
池尻 和彦（中国・四国担当）  
山田 淳二（北海道・東北担当）

計 6 名体制

※外部委託先：株式会社小谷与商店

主な業務

- ・ 地区専門部会のサポート/連絡/管理（部会運営のサポート）
- ・ 地方選手権（MX/TR/ED）の管理（主催者・選手の窓口）
- ・ 地区情報の発信（MFJ-HP）（地方選手権に関する情報の取り扱い）

- ② 8 地区の専門部会を登録し、大会数に応じた支援を行う

### 2) 二輪販売会社と MFJ の会議体

日本二普協との地区 MFJ 業務委託を解消し、本部内の広域事務局に移管したことから、メーカー販売会社との接点が希薄になることが懸念され、情報共有と普及対策を検討する新たな会議体を運営財務委員会の元に設置したい。

### 3) 中央組織

- (1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

## 10. 会員登録・公認事業

### 1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB 申請・郵送申請）
- ・ 特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

### 2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

### 3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

## 11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

## 12. その他事業

### （1）諸会議の開催

MFJ のスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）
  - ・中央スポーツ委員会・専門委員会・技術委員会・各種部会
- ※感染状況により、リモート形式もしくは書面審議とする。

### （2）スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

### （3）MFJ 創立 60 周年

本年は MFJ 創立 60 周年にあたるが、新型コロナ感染の終息が見通せず、イベント的なものは実施困難、10 月の創立月に向け以下を実施する。

#### ① 過去の競技リザルトのデータ化

過去の紙リザルトのデータ化・検索機能（種目・年度・氏名等）を設け HP で公開

#### ② 機関紙「ライディング」「国内競技規則書」の WEB 露出

1961 年の創刊号から全ての号をスキャンし、データ化し HP で公開する。

#### ③ 新ロゴマークの作成

現状複数の種類のロゴマークを使用しているが統一した新ロゴを検討中